第３回　よこはまウォーキングポイント共同事業者選定等委員会　会議録	
日　　　時	平成 26 年 7 月 17 日（木）15 時 00 分～17 時 00 分
開 催 場 所	市庁舎 7 階 7A 会議室
出　席　者	【委員　５名】大久保委員、荒木田委員、荒尾委員、田中委員、持丸委員
欠　席　者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者１名）
議　　　題	１　よこはまウォーキングポイント事業準備状況報告 ２　事業スキームの検証について ３　事業開始後の検証について ４　その他
議事要旨	
事　務　局	事務局よりあいさつ（健康福祉局　田中健康安全部長） 事務局紹介 定足数の確認　常任委員５名のうち５名の委員が出席のため、定足数を満たし委員会が成立していることを確認
議題１　よこはまウォーキングポイント事業準備状況報告について	
	【報告】 〇歩数計はオムロンヘルスケア株式会社製の型番 HJ-326F。赤と黒の 2 種類用意。 〇歩数計送付時に「取扱説明書」、「クイックガイド」、「リーダー設置店舗のマップ」を同封予定。 〇ウェブシステムは横浜市専用に現在開発中。 〇リーダー設置については市商連に 6 月中にご説明し、ご了解頂いている。 現在１８区の区商連に説明会を実施中。 〇インセンティブは地域商品券を検討中。 〇ウォーキングの成果を寄付につなげられるように検討中。 〇オープニングイベントは、11 月 15 日を予定。商店街を巡り、歩数計がない方もウォーキングを楽しめるような、“スタンプラリー方式”で検討中。 〇市民の皆さまの利便性向上のため、リーダー設置場所を拡充。
大久保委員長	リーダー設置店は増減すると思いますが最新情報はウェブから確認するのですか。
事務局	ウェブで最新の情報を確認することができます。
大久保委員長	利用者の住所に近い地図を渡すのでしょうか。

事務局	ある程度のエリアごとの大まかな地図にする予定です。
大久保委員長	商店街に行ったら、どこにリーダーがあるとか、看板があるのでしょうか。
事務局	看板ではありませんが、店頭にステッカーを貼らせていただく予定です。
田中委員	リーダー設置店舗の地図は居住区のものでしょうか、全市のものでしょうか。
事務局	どこの場所に行ってもリーダーに歩数計をのせることができますので、市全体をエリアで大きく分割したものにしようと思います。
荒木田委員	リーダー設置店を精力的に働きかけていると思いますが、リーダー設置店の中にはコンビニエンスストアはあると良いと思います。
大久保委員長	200 ポイント以上で抽選を行うという事ですが、これは自ら手続きをしないといけないのでしょうか。
事務局	自動抽選で行います。商品券の使用できる場所は、市商連加盟店を中心に検討しています。
田中委員	パソコンはリーダーの隣にあるのでしょうか。リーダーだけだとデータがわかりません。リーダーにのせた時にデータが出ないと、全員がパソコンを持っているわけではありませんから、そこが１番大切ですよね。お店の人と会話ができることも大事ですけれども。
大久保委員長	商店街に行かないとポイント計算はされないということですよね。
事務局	商店街の店舗にリーダーを設置して、参加者の方には歩数計をのせてもらう、というのがこの事業の基本的なスキームです。
荒木田委員	2,000 歩歩けば寝たきり予防になる、5,000 歩歩いたら要介護予防になる、ということですよね。10,000 歩以上が指標にないのは少しさみしいですね。
事務局	こちらの研究をした先生にお伺いしたところ、10,000 歩以上歩いても人によっては健康効果的には逆効果の場合もあるとのことで、10,000 歩以上は指標に入れていません。
大久保委員長	申込書の送付先は申込書に書いてあるのでしょうか。郵送料はかかりますか。

<table>
<tr><td>事務局

大久保委員長

事務局

田中委員

事務局

田中委員

事務局

田中委員

大久保委員長</td><td>申込書の送付先は記載します。郵送については切手を貼っていただく予定です。

パスポートや住民票を提出するよう書いてあるので、個人情報の取り扱いに注意しなくてはなりません。

対面窓口をできるところがないか検討しています。まずは郵送からになろうかと思いますが、最終的には２パターンの申し込み方法にできるようにしたいと考えています。
また、歩数計のお渡し方法としては、個人情報が入った歩数計のため１件１件個別で送らせていただくことを考えています。

申込んだところで渡せば無償になると思います。ご検討いただけないでしょうか。

歩数計が高価なものですので、市民の方に一定程度のご負担をいただくことで大切に扱っていただけると考えています。また、歩数計の初期設定等、ご自身で行うと手間暇がかかりますが、今回は事務局でその作業を行いますので、市民の方には参加登録するために必要な経費というふうに捉えていただけたらと考えています。

30 万人集めるためには送料負担はネックになると思いますが。

ネックにならないように、魅力的な事業にしたいと思います。

歩数計の使い方などの相談窓口が必ず必要になると思います。

リーダー設置店舗でも説明できるようにお願いしたいですね。</td></tr>
<tr><td colspan="2">議題２　事業スキームの検証について</td></tr>
<tr><td>

荒尾委員</td><td>【説明】
〇基本協定書の中での役割分担について、公募時には広報・PR は横浜市の役割としていたが、横浜市と共同事業者の双方の役割に変更した。
〇基本協定書の中での経費負担について、スタートイベントの実施費用を横浜市と共同事業者の双方で出し合うことを追加。
〇基本協定書の中での個人情報の取り扱いについて、横浜市の監督のもとで共同事業者には管理してもらうように定めている。

個人が特定できない形で統計分析に用いることがありますとありますが、学会で効果を発表することなどは可能なのでしょうか。</td></tr>
</table>

事務局	行政目的のために収集する情報になりますので、行政の施策に関する形でのデータ利用を想定しています。学会などの発表は想定していません。
大久保委員長	大変重要な話だと思います。このようなデータは貴重なデータなので、使いたいという人が出てくると思います。
事務局	横浜市がホームページ等で公表できるようなデータを使っていただくようになると思います。
大久保委員長	いずれにせよ、集計したデータは個人情報を出さないということです。
事務局	データをどれだけ行政として提供できるのか、そのあたりは先生方のご意見を伺いながら検討していきたいと考えています。
議題３　事業開始後の検証について	
	【説明】 ○複写式申込書記入項目について（氏名、住所、生年月日、性別、電話番号など） ○参加者へのアンケート調査の実施やデータ検証については現在検討中
荒尾委員	アンケート調査をやるのですか。
事務局	事業の評価検証のために、例えば事業参加から１年後の意識調査をアンケートで実施できればと考えています。 継続をしていない方の継続していない理由はデータではわからないので、そこを掘り起こして、補うような事業展開を検討していくということもあると思います。
荒尾委員	この事業が、元々歩いていない方に歩いてもらうことが目的だと思うので、申込時点での運動習慣の状況を得るというのは、事業の目的からすると非常に重要な情報だと思います。既に運動習慣があるという人ばかりが参加してることは事業の目的が達成されていないという評価になります。
大久保委員長	申込時にアンケートを取れれば良いのですが。
事務局	申込書に書く項目が増えれば増えるほど、申し込みが億劫になってしまうということもあると思いますので、そこの兼ね合いが難しいところではあります。
荒木田委員	アンケートに答えるメリットとして、ポイントを付与するなどするのが良いと思います。

持丸委員	結局自分の健康にも還元されるわけですよね。病気していたけれど、歩いたら元気になったとか。
議題４　その他	
	【説明】 〇経済分野の専門家を委員として増員したいと考えている。
大久保委員長	確かに、今日の話の中で、商店街の活性化など我々の領域と少し違う話も出てきているので、ぜひ専門家の方を入れていただければと思います。
各委員	（各委員了承） （以上）